

# 2 アルゴクラブで教育の可能性が広がります。

## ■優秀な生徒の早期確保を実現します。

低学年層の生徒を取り込むことが可能で、将来の生徒の囲い込み戦略において、「質」「量」ともに優位に立つことができます。

### アルゴクラブのメインターゲット

現在のメインターゲットは、年長から小学3年生。将来的には、ブランドの浸透と会員の進級に合わせて徐々に対象年齢を上げ、さらに並行して就学前児童にも対象を拡大することを目指しています。

年長

小1

小2

小3

## ■人材と時間をフルに活用できます。

早い時間帯の人材や空き教室を活用でき、経営資源を効率的に活用できます。また、優れた職員の育成にもつながります。

## ■アルゴクラブのブランド力を活用できます。

算数オリンピック、アルゴ・ゲーム、事業参画者および団体のブランド戦略により、高い信頼を獲得し高い集客を実現できます。

[事業参画予定者および企業・団体]

算数オリンピック委員会、広中平祐氏、ピーター・フランクフル氏、東大算数研究会、北京市教育局

## 算数オリンピック大会のノウハウをアルゴクラブへ

■算数オリンピック、ジュニア算数オリンピック大会では、入塾学校で修学する内容とは一線を画する思考問題を作り出してきました。子どもたちに自力で考えぬき、過程の楽しさと解けたときの達成感を与えるものです。

**この問題作成、指導の技術を「アルゴクラブ」に活用しています。**

■算数オリンピック委員会が、算数・数学の醍醐味を味わえ、数学的思考力を養成するために開発したのが「アルゴ・ゲーム」。

**アルゴクラブでは、このアルゴ・ゲームを中心に、パズル、クイズを用いた能力開発授業を行います。**

■アルゴクラブのプログラム開発には、これらの数学、物理の分野で活躍する人材をはじめ、算数オリンピック大会運営をサポートしてくださってきた全国の教育関係者の能力を活用しています。

### 算数オリンピックとは？

世界の子どもたちが、「算数」を通じて思考力と独創性を競う大会です。1992年に、広中平祐氏（京都大学名誉教授）の提唱で始まり、毎年1回開催されています。小学5年生以下が対象のジュニアオリンピックは、より多くの小学生に算数を楽しんでもらうために1997年から毎年開催されています。